

## 森美術館館長 片岡真実

# 「アナザーエナジー展：挑戦しつづけるカー世界の女性アーティスト16人」で 第17回西洋美術振興財団賞「学術賞」を受賞

このたび、森美術館館長の片岡真実は、昨年開催した「アナザーエナジー展：挑戦しつづけるカー世界の女性アーティスト16人」の企画において、第17回西洋美術振興財団賞「学術賞」を受賞しました。

西洋美術振興財団賞は、公益財団法人西洋美術振興財団が最近2年間に国内の美術館で開催された西洋美術に関する展覧会等の関係者を対象に、日本における西洋美術の理解と文化交流の促進、西洋美術研究発展のため、顕著な業績があると認められる個人(学術賞)、ならびに団体(文化振興賞)を顕彰するものです。

「学術賞」は、多年の研究をもとに組織され、今後の研究促進に貢献し、学術的にも優れた展覧会の企画構成担当者に贈呈されます。

### 選考理由

※「第17回西洋美術振興財団賞」受賞者決定に関する報道資料より一部を抜粋して引用しています。

「出身地や活動地域、人種や民族、宗教、イデオロギーや表現方法が各々異なる16人のアーティストが一堂に会することにより、終戦直後の混乱期以来、彼女たちが少なくとも半世紀以上におよぶ濃密なキャリア(70歳以上の意味はまさしくここにある)のなかで挑戦し、経験しつづけた現代の矛盾や偏見、差別や性格差、不平等や貧困などが浮き彫りにされる。それと同時に女性であることを超えて普遍的な視座のもと、ダイバーシティと共生は、我われ全体に突き付けられた喫緊の課題であることが視覚芸術をとおして認識させられた。コロナ・パンデミックの収束が見えないなか、ウクライナでは戦争が勃発するなど世界的に不安と緊張が強られる今日、まことに時宜を得た企画と言えるだろう。

片岡氏が中心となり、マーティン・ゲルマン氏を共同企画者に迎えて自ら手掛けたのが本展であり、そこには多くの国際展でキュレーターや芸術監督を務めた片岡氏が蓄積してきた経験と深い学殖、世界を股にかけての人的ネットワークが見事に生かされている。さらに図録でも、エッセイはもとより内外の執筆者による作家解説も適切で充実しており、顕彰に十分に値するものと判断された。」

### 片岡真実 受賞コメント

「コロナ禍下、芸術の探求と制作を持続してきた参加作家のアナザーエナジーに鼓舞されながら、半世紀以上にわたる彼女たちの生き様や社会的背景を観客に伝えるため、展示および図録、ラーニングプログラムにおいて新たな試みも生まれました。この度、西洋美術振興財団賞学術賞を賜りましたことは望外の喜びであり、大変光栄に存じます。本賞は共同キュレーターのマーティン・ゲルマン、図録編集及びビデオインタビュー制作を担当したアソシエイト・キュレーターの徳山拓一をはじめ、森美術館という組織全体に頂いたものと考えており、代表して心より御礼申し上げます。」



撮影：伊藤彰紀

なお、現在、当館では片岡が共同企画した展覧会「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」を開催中です。是非お見逃しなくご覧ください。

### プレスリリース

お問い合わせ 森美術館 広報事務局(共同ピーアール内): 日比、松川、花上  
Tel: 03-6264-2039 E-mail: mam-pr@kyodo-pr.co.jp

## 片岡真実 略歴

ニッセイ基礎研究所都市開発部研究員、東京オペラシティアートギャラリー・チーフキュレーターを経て、2003年より森美術館。2020年より現職。2007～2009年はハイワード・ギャラリー（ロンドン）にて、インターナショナル・キュレーターを兼務。第9回光州ビエンナーレ（2012年）共同芸術監督、第21回シドニー・ビエンナーレ（2018年）芸術監督。現在開催中の国際芸術祭「あいち2022」芸術監督。2014年からCIMAM（国際美術館会議）理事、2020年より会長を務める。

## ■ 「アナザーエナジー展：挑戦しつづけるカー世界的女性アーティスト16人」概要

世界各地で活躍するキャリア50年以上、72歳から106歳の現役女性アーティスト※1 16名の活動を紹介。絵画、映像、彫刻、大規模インスタレーション、パフォーマンスなど多彩で力強い作品約130点をとおして、彼女たちを突き動かす特別な力、「アナザーエナジー」とは何かを考察した展覧会。

**主催：**森美術館

**企画：**片岡真実（森美術館館長）

マーティン・ゲルマン（森美術館アジャクト・キュレーター）

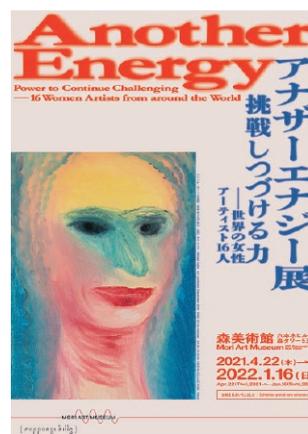
**会期：**2021年4月22日（木）～ 2022年1月16日（日）※2

**ウェブサイト**（過去の展覧会ページ）：

<https://www.mori.art.museum/jp/exhibitions/anotherenergy/index.html>

※1 開催当時。会期中にエテル・アドナン（享年96歳）、会期終了後にカルメン・ヘレラ（享年106歳）が他界。

※2 4月25日から5月31日は、政府による緊急事態宣言発令を受け新型コロナウイルスの感染予防および拡散防止のため臨時休館。



## ■ 現在開催中の展覧会

### 「地球がまわる音を聴く：パンデミック以降のウェルビーイング」

パンデミック以降の新しい時代をいかに生きるのか、心身ともに健康である「ウェルビーイング」とは何かを、現代アートに込められた多様な視点を通して考える展覧会。美術館ならではのリアルな空間での体験を重視し、インスタレーション、彫刻、映像、写真、絵画など国内外のアーティスト16名による約140点の作品を紹介。

**主催：**森美術館

**企画：**片岡真実（森美術館館長）

熊倉晴子（森美術館アシスタント・キュレーター）

徳山拓一（森美術館アソシエイト・キュレーター）

**会期：**2022年6月29日（水）～11月6日（日）

**詳細：**ウェブサイト [www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum)



**プレスリリース**

お問い合わせ 森美術館 広報事務局（共同ピーアール内）：日比、松川、花上  
Tel: 03-6264-2039 E-mail: [mam-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:mam-pr@kyodo-pr.co.jp)